

大切にしたいもの、  
残したいもの。

昔からいつもそこにあつた当たり前の風景や

いつも声をかけてくれた顔見知りの人たちが

ふと気づいたらいなくなっていて

寂しい想いをしたことはありませんか？

お母さんと通ったお風呂屋さんや

家からボウルを持って買いにいったお豆腐屋さん

おめかししていった写真館。

パック詰めされたものが大量に並ぶスーパーは便利だし

小さなボックスの中で写真はいつでも撮れるけれど

ヒトとの関わりは希薄になって

隣に誰が住んでいるのか分からなかったり

形ばかりの挨拶は目を合わせることもありません。

不便だったり、めんどくさかったり、煩わしかったり

そんな不自由さえも愛おしくなってきたら

私たちの生活はもっと豊かになるのかもしれない。